

研究成果（技術）リーフレット

除草剤の効かなくなった雑草「スズメノテッポウ」の防除法

耕しかたなどの工夫で上手に押さえ込めます。



これまで防除に使われてきた「トリフルラリン(ハーモニー)」等が効かなくなった麦の雑草「スズメノテッポウ」の防除法を開発しました。

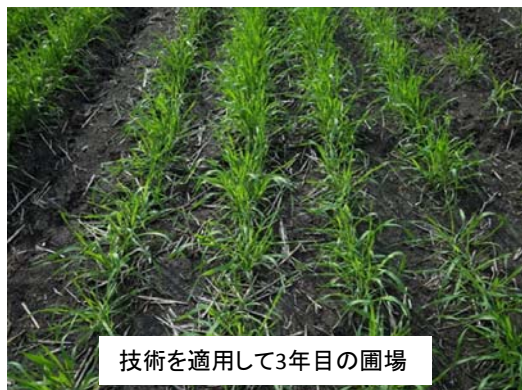
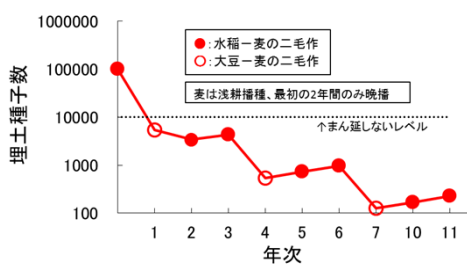
スズメノテッポウとは？

冬から春にかけて生育する、麦の強害雑草です。従来防除に使われてきた「トリフルラリン(ハーモニー)」等の除草剤が効かなくなった抵抗性雑草が増えて問題になっていました。



新防除法の効果は？

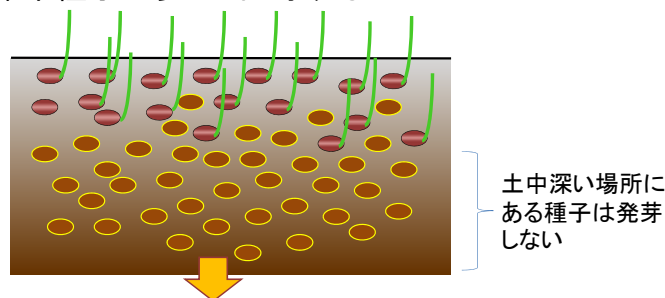
この防除法を適用して、数年以内にスズメノテッポウの発生を1/10以下に少なくできます。



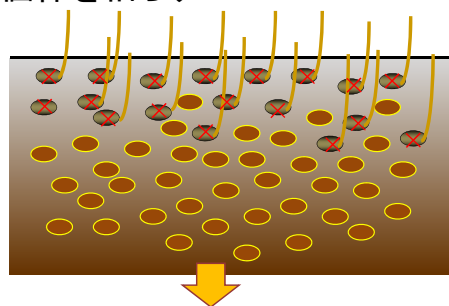
どうやって草を減少させるの

開発技術のしくみ

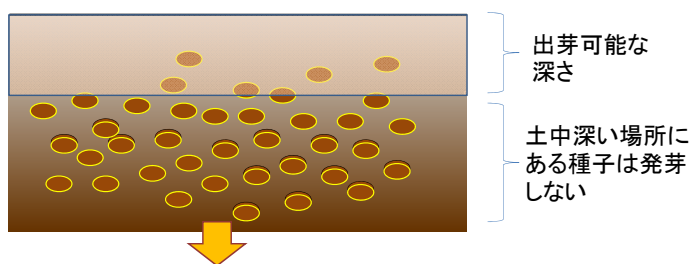
①麦の播種までに土壌の浅いところの雑草種子の多くが出芽する



②非選択性除草剤で出芽した雑草個体を枯らす



③出芽可能な深さにある種子が減少



④土中深くにある種子を表層に移動させないように麦を播種する

Tips

土中に埋まっている雑草種子を地表近くに移動させないためには、不耕起(耕さない)や浅耕(浅く耕す)で麦を播種することが有効です。

お問合せ先

農研機構 九州沖縄農業研究センター 広報普及室

Tel:096-242-7682 E-mail:q_info@ml.affrc.go.jp

www.naro.affrc.go.jp/karc/

九州沖縄農研 | 検索

(2014.03 作成)